

珪藻プランクトンが増加傾向です！アカの感染が確認されています！

1月20日(旧暦2日)の海況

1 養殖概況

現在、活性処理が行われています。

2 海況(20日満潮時・右表)

水温：平均11.1℃と、平年より1.8℃高めでした。

比重：平均22.4でした。

栄養塩：平均6.1マイクロ(µg·at/L)でした。

プランクトン：主な種類は珪藻(キトセロウ、スケレトナ等)でした。

3 ノリの病害、生長など(20日調査)

- アカは3調査点で確認され、すべて軽度でした。
- アカの病斑はすべて顕微鏡サイズです。
- 付着細菌は2調査点で確認され、すべて軽度でした。
- 原形質吐出は12調査点で確認され、すべて軽度でした。
- ツボは確認されませんでした。

3 今後の管理

- 珪藻プランクトンが増加し、栄養塩が減少傾向です。今後、カラマには沖合を中心に栄養塩がさらに減少すると考えられます。
- 27日から30日は干潮位の高いカラマとなるため、アカの感染拡大が予想されます。加えて色落ちの可能性が高いと考えられます。速やかに1回目の摘採を終了し、網の高さはハラで2.2m以上にしてください。
- 原形質吐出が広範囲で確認されています。低吊りや無干出は「クモリ」「スミノリ」の原因となるため、適切な干出をとってください。
- 活性処理は200倍程度を目安とし、必ず再利用を行ってください。

次回の調査は1月23日(金)の予定です。

漁場名	調査点	水温(℃)	比重	栄養塩(µg·at/L)	プランクトン(cc/100L)	アカ	葉長(cm)
4号	1	9.9	15.3	35.5	1.7	○	13
6(2)号	12	11.2	22.8	2.7	-	○	10
七つはぜ	11	11.2	22.8	4.2	1.7	○	10
よりあわせ	A	10.3	18.8	20.8	-	○	10
えどなかつ	2	11.2	22.8	4.6	-	○	13
にしのつ	3	10.8	21.3	8.3	1.5	○	15
たかつ	4	10.8	22.2	5.5	-	○	15
せいどまり	B	10.8	21.9	6.7	1.9	●	13
13号	10	11.6	23.4	2.3	-	○	7
20号	9	11.5	23.7	1.7	2.2	○	10
24号	8	11.4	23.6	2.4	-	○	17
ひやっかん	5	11.1	22.8	3.4	2.2	○	13
22(1)号	6	11.3	23.2	2.7	-	○	7
25号	7	11.3	23.3	2.7	2.5	○	10
33号	16	11.5	23.4	2.4	-	○	15
43号	13	11.4	23.4	2.6	2.2	○	13
43号	14	11.3	23.2	2.5	-	●	15
44号	15	11.6	23.3	2.1	1.8	●	17
45号	C	11.6	23.7	1.9	-	○	5
平均		11.1	22.4	6.1	2.0	3/19地点	12

アカの感染：○感染なし、●軽度、▲中度、★重度または大量感染

※プランクトン沈殿量は速報値です